

ANTHOCEPHO(A?)LUS属

CADAMBA WOOD / KADAMBA WOOD

『カダム ウツド』

- ①インドの **KADAMBA** 王朝が大切にしていた木で、今でも お祭り(KARAM-KADAMBA)が あるそう。
- ② **KADAMBA** Riyammanなる、木の神が知られる。
- ③インドの物語『ギータ・ゴーヴィンダ』の一節↓
『ゴーパー/牛を飼い 搾乳を生業とする女性達が 禁を破って裸で水浴びしていると、クリシュナが 彼女達の服を **KADAMBA** の木の枝に引っかけた。水浴びを終えたゴーパー達が、服がないことに気付くと、クリシュナは枝を揺らして服のある場所を知らせ、禁を破ったことを大地に詫びるよう促し、彼女たちが指示に従うと 服を返した。

程々に固く虫に喰われにくい為か、インド製の置物の材としてポピュラー。虫喰い・ヒビ・フシのある材は安いが、それらを目立たなくする為、色を塗る・模様をつける等すると お金がかかる。なので、無地と色・模様つきで値段が同じだったりも。一定以上 大きな材は、乾かす過程で必ずヒビ・歪みが発生する為、基本、大きな置物で無地は無い。